

MIW通信 52

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。MIはman（男性）、WIはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

2023



MIW マスコット
キャラクター
みゅうじろう

メルバ・フリーアメキシコ大使と鈴木茂義さん（右上）、梨の木舎・羽田ゆみ子さん（右中）、ライフネット生命保険・関根和子さん（右下）、東京神田神保町映画祭受賞者とスタッフ、前列左から2人目樋口千代田区長（左上）、プライドハウス東京レガシー・小野アンリさん、左と五十嵐ゆりさん、右（中央下）、ブックハウスカフェの親子（左下）



◇特集 1

「虹色になる」ーこれからのパートナーシップ

対談 **メキシコ大使と語る虹色のメキシコと日本**…p2

日本の総合LGBTQ+センター **プライドハウス東京レガシー**…p4

LGBTQフレンドリー企業 **ライフネット生命保険** …p5

◇特集 2

本のまちで、映画のまちで 繋がるボタン

神保町から世界へ「東京神田神保町映画祭実行委員会」…p6

街中の居場所のブックカフェ「梨の木舎」…p8

絵本の読み聞かせ「ブックハウスカフェ」…p9

「虹色になる」—これからのパートナーシップ

対談



メルバ・フリーア大使 × 鈴木茂義さん (通訳: メキシコ大使館 白谷沙江子さん)

メキシコ大使と語る **虹色**のメキシコと日本



2022年メキシコシティで開催された第44回LGBTQ+のプライドマーチの様子。メキシコ外務省も参加。

令和4年(2022年)11月から東京都で、パートナー関係にある方たちからの宣誓・届出の受理を証明する宣誓制度(詳細 p3)が始まりました。そこで、同性婚やパートナーシップ制度が進んでいるメキシコのメルバ・フリーア大使とLGBTQ+*の相談・支援をされている鈴木茂義さんに対談をお願いしました。



メルバ・フリーア大使

2019年から駐日メキシコ大使。メキシコでは2014年の憲法改正で、連邦州議会の選挙に各政党が男女同数の立候補者を擁立することが義務付けられたとのこと。大使は若い世代にメキシコを知ってもらおうとSNSを通してメキシコの料理のレシピやカクテルの作り方なども発信。
メキシコ大使館HP <https://embamex.sre.gob.mx/japon/index.php/ja/>

鈴木 日本では、自治体によってはパートナーシップ制度が広がりを見せ、利用する同性カップルやLGBTQ+のことを知る人たちも増えてきました。企業の取組や東京オリンピック・パラリンピックをきっかけにスポーツの分野でのLGBTQ+も知られるようになっていっています。

一方で、理解促進や差別禁止の法律がなく、婚姻の平等も実現していません。それが課題だと感じています。メキシコの状況はいかがですか？

大使 昨年、メキシコのすべての州で同性婚を認める法律が制定されました。また、上院下院の議員は男女半々で男女平等は進んでいます。メキシコは伝統的な社会で、日本と同じく男性が強くて女性よりも上だとの価値観があります。その中で、同性婚の法制化には時間がかかり大変でした。

家族の考え方を変えた法律
大使 まずLGBTQ+のコミュニティだけでなく、より広い範囲の法律ができたこと

ろからお話します。2006年に、メキシコシティで、コンベンシニア法[※]ができました。血縁関係はないけれど一緒に住んでいる人々の世帯を法的に承認し、特定の権利と義務を与える法律です。例えば、義理の姉妹がいてそれぞれの夫が亡くなった時、残された義理の姉妹とその子どもたちが一緒に住んでいればひとつの家族と考え、扶養の義務、相続の権利、公共サービスを受ける権利があるとしたのです。法的な身分は「独身」ですが、一緒に住んでいれば家族として認め、保証する法律でした。これは家族の考え方を大きく変えました。

この法律ができたことで、一緒に住む同性同士も家族と見なされ、メキシコシティで2010年に同性婚が認められました。メキシコでは出生・死亡・婚姻証明書などの登記(日本での戸籍)は州単位で認められているので、メキシコシティでの法律化をきっかけに、その動きが全国に広がりました。

* LGBTQ: Lesbian (レズビアン、女性同性愛者)、Gay (ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)、Questioning/Queer (クエスチョニング/クイア、こころの性別、恋愛の方向が定まっていない、変化している途中である人々)を示す。さらにLGBTQに+ (プラス、上記に収まらないセクシュアリティの人々を表す) を付けた用い方もある。p2-3の対談とp4ではLGBTQ+を使用。



鈴木茂義さん

LGBTQ+センターのプライドハウス東京レガシーのスタッフ。LGBTQ+と教育について考える虫めがねの会の代表。自治体の相談員。元上智大学基盤教育センター非常勤講師。元公立小学校主任教諭。専門は特別支援教育、教育相談、教育カウンセリングなど。LGBTQ+や教育、性の多様性に関する講演活動多数。

2015年に最高裁の訴訟ですべての州で同性婚を認めるべきとの判決ができました。メキシコの憲法では、男女関わりなくすべての人が平等でなければならぬと謳われているので、同性婚を認めないのは憲法違反としたのです。その後、性的指向の差別を禁じる性的指向禁止法ができ、性同一性障害に関する法制化も進んできました。そして昨年、メキシコ全土で同性婚の法制化が達成されました。

鈴木 メキシコの状況をよく理解でき、かつ興奮していません。なぜなら、いま日本の置かれている状況がメキシコの初期の状況と非常によく

似ているからです。日本では2015年に渋谷区と世田谷区で初めてパートナーシップ制度が始まり、それをきっかけに同性婚の動きが広がっています。また、家族の考え方を大きく変えるような包摂的な法律を制定することが同性婚へと向かったメキシコの動きから、日本のLGBTQ+の運動は学ぶことがたくさんあると感じました。

子どもたちの可能性

鈴木 私は子どもたちとLGBTQ+を入口とした人権の授業をしています。自分自身がゲイの当事者ですが、2、3年前までは、子どもたちにそれを話すとても驚かれました。最近誰も驚きません。それどころか、その何が問題なの？と言われます。子どもたちの可能性を感じます。

大使 そうですね。大人たちが子どもたちに固定観念を与えています。私が8歳の時に、母に「女の子が男の子を好きになり、男の子が女の子を好きになるのが決まっているの？」と尋ねたことがありません。母の答えは「誰もが誰をも好きになれるのよ」。私は親から何かを禁じられたこと

はなく、それはありがたいことでした。大人たちは多様性を理解し、正しい形で子どもたちに伝えて欲しいですね。鈴木 日本では子どもたちは学ぶ機会が少しずつ増えていますが、大人たちは悪気がなくとも、学ぶ機会やチャンスに恵まれていません。親や大人が学んでいく機会をどのように作れるかが課題です。

鈴木 特定の誰かだけが幸せを享受できるのではなく、みんなにとって良い形になることを追いつめてきているのです。大変なことはいっぱいあるけれど、目指したい未来は、メキシコも日本も、大人も子どもも同じだと思います。

東京都のパートナーシップ宣誓制度

■パートナーシップ関係にある二人からの宣誓・届出を、都が受理したことを証明（受理証明書を交付）する制度。これにより都営住宅入居申込、病院の診療情報提供などが可能になりました。https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/10jinken/base/upload/item/list_tmg.pdf

■千代田区でも受理証明書等を提示することで区営・区民住宅入居申込などが可能になりました。<https://www.city.chiyoda.lg.jp/documents/18382/partnership.pdf>



メキシコ大使（右）と鈴木茂義さん（左）。メキシコ大使館の庭のテキーラの木の前面で。

**コンビベンシア法：共同/共生社会法：Ley de sociedad de convivenciaは2006年にメキシコシティで制定され、2007年に施行された民法。血縁関係のない人々で構成された世帯に法的な承認をし、特定の権利と義務を与える法律。この法律で登録された人々は互いに権利と義務が生じるが、法的な身分は「独身」のまま。のちにメキシコシティでは2009年に民法が改正され（2010年施行）、同性婚が認められた。2015年メキシコの最高裁がメキシコシティで結ばれた同性婚を他の州でも認めなくてはならないとの判決を出し、のちに養子を持つ権利も与え、国全体で同性婚の法制化を進める大きな要因になった。

「虹色になる」—これからのパートナーシップ

日本の総合 LGBTQ+ センター

新宿3丁目に、東京オリンピック・パラリンピック2020をきっかけにできた常設の総合LGBTQ+センター「プライドハウス東京レガシー」があります。LGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティに関する情報発信をはじめ、多様性に関する様々なイベントや啓発事業を展開しています。そこは、すべての人たちが安全で安心していただける居場所です。スタッフの五十嵐ゆりさんと小野アンリさんにお話を伺いました。



開設当初400冊だった書籍は現在約3000冊に。

プライドハウス東京レガシー



スタッフの五十嵐ゆりさん(左)と小野アンリさん(右)。来た人の声を聴き、ともに居ることで安心・安全を感じる場ができる。



レインボーバナーで、スポーツの試合や大会でアスリートの力も借りてLGBTQ+の発信。



東京レインボープライドで、UDA (University Diversity Alliance: LGBTQ+など学生の支援を入りにダイバーシティを進める大学)としてブース出展。

〈プライドハウス東京レガシー〉 新宿区新宿1-2-9 JF新宿御苑ビル2階
 開館時間：月火金土日13:00～19:00 年間の利用者は約3000人、25の団体と21の企業の協力、21の大使館の後援を受けています(2023年3月現在)。
<https://pridehouse.jp/legacy/>

東京2020をきっかけに

レインボーフラッグのある建物のドアを開けると、そこにはLGBTQ+関係のリーフレットやイベントのフライヤー、書籍などが並べられ、素朴な木の机と椅子がほっとする雰囲気を作っています。ここが東京オリンピック・パラリンピック2020をきっかけにできた常設の総合LGBTQ+センター「プライドハウス東京レガシー」です。「東京2020大会はトランスジェンダーの選手が自身から自認する性別で参加資格を得た歴史的な大会*でした。これ

が開催されるタイミングを機に、このプロジェクトが始まったのです」とスタッフの五十嵐さんは説明してくれました。ともに学ぶ／支える／動く

プライドハウスは大きく3つのチームでプロジェクトを展開しています。「ともに動くチーム」ではスポーツを通してLGBTQ+の発信や研修、「ともに支えるチーム」では、情報や人とながる機会を提供し、ネットワークを作っています。大学の授業にも参加し、24歳以下の子ども・ユースのための支援プログラムも実施しています。「ともに学ぶ

チーム」では、プライドハウスを訪れる中学・高校・大学生、学校教職員などへの説明、「女を愛する女たち」のクロストーク」等のイベントや当事者へのインタビューを記録してLGBTQ+の文化を保存しています。

プライドハウスの取組すべてがすべての人への尊重で成り立っていますが、社会はまだまだそこまでいっていません。「誰の権利が奪われているか」を一人ひとりが少しでも想像することが大事では」と最後に小野さんが話してくれました。

* 2004年からこれまでに54,000人以上の選手がオリンピック・パラリンピックに参加したが、トランスジェンダーを公表して参加した選手は、東京2020大会に出場したニュージーランドの重量挙げ選手、ローレル・ハバード選手が初めてだった。

LGBTQ フレンドリー企業

企業では性的マイノリティへの配慮の実態はどのようになっているのでしょうか？ 2015年に日本で初めて、死亡保険の受取人の指定範囲を拡大して、同性のパートナーを受取人として可能としたライフネット生命保険（千代田区麹町）の人事部関根和子さんに伺いました。

ライフネット生命保険



会社として「東京レインボープライド2019」プライドパレード&プライドフェスティバルに参加。パレードやブース展開で当事者とその支援者がつながる場を作る。2019年には31名が参加。



人事総務部長の関根和子さん。「わが社には制度はもちろんですが、社員自身が意見を出してすべての社員が働きやすい環境を作っていく社内風土があると思います」と話します。



ライフネット生命保険はLGBTQに関する取組が評価され、「PRIDE指標」で最高評価の「ゴールド」を7年連続受賞。

同性のパートナーも受取人に

ライフネット生命保険が死亡保険金の受取人の指定範囲を同性パートナーに拡大したのは、平成27年（2015年）11月4日。渋谷区が全国初のパートナー証明書の交付を開始した11月5日と同時期のスタートでした。しかし、「会社としては特別革新的なことではなかったのです」と関根さんは話します。

同社には「正直に経営し、わかりやすく、安く便利な商品サービスを提供することで一人ひとりの生き方を応援する」という経営理念があります。事実婚のパートナーがそうであるように、同性パートナーを死亡保険金の受取人に拡大したのは経営理念に合わせただけというのです。利用者からは「待っていた。受取人を同性パートナーに変更したい」「取組に感動した」との声が届き好評なスタートだったとのこと。

社内でのダイバーシティ

社内では横断的なダイバーシティチームがダイバーシティに関する勉強会の実施や全国のLGBTQに関するイベントに参加しています。昨

年4月に行われた「東京レインボープライド」にも出展。来訪者にレインボーのマスクを配りました。

平成28年（2016年）からは「レインボーフォトプロジェクト」を展開しています。「東京レインボープライド」等のLGBTQのイベントのブースで写真撮影をしてくれた方一人当たり100円を会社が積み立て、それでLGBTQについての児童書を購入、全国各地の図書館や学校に贈っています。

また、性別、性的指向、性自認、性表現、国籍、学歴不問を含む「採用マニフェスト」を掲げ採用をしています。

社内外での多様性を認める動きは、「生きやすい・働きたい」につながっています。

LGBTQsのためのほのぼのスポット Rainbow

千代田区男女共同参画センターMIWでは、LGBTQ当事者やアライ（LGBTQを理解し支援をする人のこと）に向けて、ありのままの自分を受け入れる癒しの場となることをテーマに年に3回程度、交流会を開きます。



令和4年度に実施したチラシ

令和4年度 MIW は、LGBTQs の表記を使用。令和5年から LGBTQ の表記を使用していきます。

本のまちで、映画のまちで 繋がるバトン

神保町から世界へ「東京神田神保町映画祭実行委員会」

神保町の国際的な映画祭をご存知ですか？「東京神田神保町映画祭」はインディペンデントといわれる自主映画のコンペティションを行い、受賞作品を上映し、優れた作品をインターネットで配信。ハンブルグやニューヨークなどの海外の映画祭でも上映しています。さらに、区内の大学生や小学生に映画の作り方を教えるなど、映画で地域を元気にしています。しかも、この映画祭を運営しているのは、すべて〈映画と神保町大好き〉のボランティアの方々。実行委員会の皆さんにお話を伺いました。



東京神田映画祭の実行委員会の皆さん 左から久那斗ひろさん、白石春美さん、仁井原正美さん、平野綾子さん。この映画祭の言い出しっぺの事務局総務ディレクターの里みゆきさんが冗談のように言った「神保町から世界へ」が本当に実現してしまったと実行委員の皆さんは楽しそうに笑って話していました。

「神保町から世界へ」の夢が形に

「実は日本で初めて興行映画が上映されたのは神田だったのです」と話し出したのは、実行委員メンバーで映画プロデューサーの久那斗ひろさん。この神保町で、神保町を愛し映画を愛するメンバーが出会って、平成27年（2015年）に「東京神田神保町映画祭」

が始まりました。

映画祭で目指したことは、インディペンデント映画（自主映画）作品を神保町から世界へ発信すること、そして、映画での街おこしでした。

上映の機会に恵まれない自主映画を募集し、コンペティションを実施。受賞作品をインターネットで配信していま

す。さらにその作品を、日本映画を紹介するドイツのハンブルグやシカゴの映画祭、アニメ映画専門のニューヨークのブルックリンサイファイ映画祭でも上映しています。

この映画祭の運営はすべてボランティアで実施されています。中心になっているのが映画プロデューサーや俳優などのプロフェッショナルと映画好き／神保町好きの市民10名程とのことで驚きます。

困難と壁を乗り越え

自主映画で映画祭が盛り上がるかの心配や映画をインターネットで配信することへの壁、海外での上映実現には困難もありました。実際、ハンブルグ日本映画祭で受賞作品が上映されるまでに3年かかったと言います。しかし、直接ドイツに行つて交渉。ボランティアでしているメンバーの熱意に打たれた現地の総領事も協力してくれ、実現しました。今では、映画祭に訪れる監督やメンバーに、総領事専属コックの料理が振舞われるとのこと。海外の映画祭には樋口千代田区長からも



久那斗ひろさん

実行委員。映画プロデューサー。



平野綾子(りょうこ)さん

実行委員。映画祭の配信サイト「東京ヘッズ」ディレクター、催事ディレクター。



仁井原正美さん

実行委員。グラフィック・WEBデザイナー、漫画家。HPデザインを担当。



白石春美さん

実行委員長。「神保町応援隊」の隊長で神保町大好き人間。

◆ 2021年のグランプリ作品◆

「**擽猛** (どうもう)



わたなべあさと

渡邊安悟監督のコメント：余命宣告を受け黙々と工場勤務の生活を送る前科者の元プロレスラーとその同僚がプロレスジムで一人の男に出会う。人生の複雑な裏通りを歩く3人の日常が少しずつ変わっていく…。登場する人物たちはいずれも社会に上手く順応できずに日々を生きている。しかし、映画の中で舗装されていない道なき道にも堂々と逸れる彼らの進退に、私ですら時として驚くばかり。本作のような“不器用な”映画をグランプリに選出して頂いた映画祭の方々に感謝したい。

メッセージをもらい、映画と共に映画の街・神保町がアピールされているとのこと。これは**応募作品の3分の1が女性**

今年の映画祭への応募は600作品ほど。SF、家族にフォーカスしたヒューマンドラマ、アニメ、アクション、ドキュメンタリーなどジャンルは様々です。

今年の特徴は、2年前まで1割未満だった女性の作品が3割以上に増えたこと。「スマートフォン」の普及で「TikTok」などで自分の表現をする女子たちが多くなり、映像表現のハードルが下がったこと」が背景にあるとのこと。

さらに、男女の作品内容にそれぞれ特徴があると言います。「男性の作品にはアクションや暴力表現が多く、女性は家族や社会性があるテーマが多い」(平野さん)。「女性たち

の作品を見ると、いかに男性社会で男性たちが勘違いしていたかを痛感します。これまで女性たちが我慢してきたことを今、女性の目線で『やめて』と表現している。こうした女性たちの活躍から日本の映画が変わり、世界標準になっていくと感じる」(久那斗さん)と話されました。

小学生と映画作りで地域貢献

映画で地域貢献もしています。コロナ前、深田晃司監督が区内の共立女子大の学生に映画の作り方を教えてくれ、その学生がお茶の水小学校の5、6年生に映画の作り方を教え、「1分間で思いの丈を表現してみよう」と翌年取り壊される校舎への思いを映画にしたのです。また、企業も巻き込んでいます。区内の椅子製造会社に協力してもらい、そのショールームを映画祭の会



令和4年(2022年)の映画祭は区内企業コトブキシーティング株式会社の協力でこの会社のショールームで実施しました。

場に行っています。映画で新たな文化や新たな層を取り入れることで、地域の意識改革、街おこしをしたと皆さんは話していました。

街中の居場所のブックカフェ「梨の木舎」

40年前に、神保町に設立された出版社・梨の木舎(千代田区神田三崎町)。現在は、出版の枠を超えて、飲食もできるブックカフェとして、本と人々がつながる「あめにていかふえ」を併設して出版活動をしています。代表の羽田ゆみ子さんと仕事のパートナーの柴田千春さんに伺いました。



梨の木舎の店内 本とコーヒーと人が出会う「あめにていかふえ」も併設。カフェで出されるケーキは羽田さんの手作り。

水道橋の駅から3分、本と木製のテーブル、座り心地のよさそうな椅子のある空間が広がる梨の木舎。代表の羽田ゆみ子さんは「出会いを紡ぐ」出版社と言っています。

日本とアジアの歴史を見直すことなる『教科書問題』がきっかけでした。「これまで取りこぼされてきた日本とアジアとの歴史を一つひとつ取り上げていきたい」と、アジアからの証言や市民運動の声を受け止め、シリー



羽田ゆみ子さん(右)と柴田千春さん(左)。羽田さんが柴田さんの所属する団体の本を出版したことからつながり。



梨の木舎での出版記念会の様子。訳者の森川万智子さん(左)を迎えて。朗読やうたも披露。

ズ『教科書に書かれなかった戦争』等の本を送りだしてきました。その後、女性の歴史や生き方、暴力からの傷つきと回復、環境問題等をテーマに出版しています。その中で羽田さんは「本と読者・人々との間に開かれた場所が必要」と思っていたと言います。

リアルに開かれた出版社

それが形になったのが平成28年(2016年)。出版だけでなくリアルに人々と出会い、飲食も交流もできる「あめにていかふえ」を併設しました。民法や歴史問題等をテーマにした講座「アメニートーク」も開催しています。近くの大学の学生さんがふらりと参加するなど、出会いの幅は広がっていました。

著者が相棒になって

そこで若い相棒として参加したのが柴田千春さん。柴田さんは梨の木舎から本を出した著者でした。

「ここには、様々な人と出会うことで社会的な体験を作り出す場、自分たちの手で作り出していく喜びがある」と二人は話してくれました。編集者と著者が一緒になり、企画・編集、講座や居場所づくりへと取り組んでいます。

絵本の読み聞かせ「ブックハウスカフェ」

ブックハウスカフェは、平成29年（2017年）にオープンした神保町唯一の新刊児童書専門店です。絵本・児童書の販売だけでなく、店内での読み聞かせやコンサート等、様々なイベントもしています。当初からのスタッフの茅野由紀さんに伺いました。



茅野由紀さん このお店に関わるようになった時、茅野さんは絵本好きではありませんでしたが、本の流通や書店の経営にはまったくの素人。「書籍業界のことを知らない人に新しい風を入れて欲しい」と経営者から言われたと言います。

ドアを開けると、色とりどりの絵本がいっぱい。真ん中にはカフェでひと息つける空間が広がっています。

このブックハウスカフェの前身「ブックハウス神保町」からのスタッフ茅野由紀さんは、「神保町の街を絵本で活性化したいとの気持ちで働き始めた」そうです。

多様性がキーワード

平成17年（2005年）の開設当時、週末の神保町はほとんど店が閉まっていてゴーストタウンさながらだったと言います。その後、千代田区に子育て世代が増えたこともあつてか様々な層が来てくれるようになり、今では、親子連れや絵本好きの方たちで週末にぎわうようになりました。



絵本の読み聞かせ風景。店内にはカフェやギャラリーも併設され、絵本の原画展や様々なイベントも開かれています。



店内の奥にあるブックバー「リリパット」で絵本の読み聞かせをする社長の今本義子さん。平日夜8時～11時までのバーは、昼間とは違う雰囲気です。

「赤ちゃんにとって居心地の良い場所なら大人にとっても良いはず」と、「段差をなくしたベビーカーが通れる通路、視線を低くした本棚、自由に本が読めるスペースなど、絵本の本屋さんだったからこそ、多様性のキーワードが最初からあったのだと思います」と茅野さんは話します。

その後、お店は平成29年（2017年）にリニューアルして、カフェとバーを併設しました。飲食ができる空間になり、絵本の読み聞かせやコンサート、ワークショップ等、様々なイベントを展開してい

ます。作家さんが自作の本を紹介したり、コンサート、結婚式の二次会、絵本婚活まで多様なイベントをしてきました。たまたま出会った人たちから自然発生的にサークルが出来、本が繋げる人の縁に驚く、と茅野さんは言います。

バーでの絵本の読み聞かせ

また、お店の奥にあるバー「リリパット」では時折、絵本の読み聞かせもしています。本のお客さまは絵本目当てでない方や年配の男性が多いのですが、意外やそこで絵本の良さを伝えることができるというのです。例えば、一匹

だけ色の違う赤毛の猫の絵本「わたしはあかねこ」の読み聞かせでは、周りから認めてもらえないか自分なりの道を進んでいく主人公のあかねこに自分の体験を重ねた大人たちが「絵本っていいものだ」としみじみと感じ入り、絵本を買って帰ることもあるとか。

「絵本は年齢、性別、国籍、属性、宗教なども問わず、誰でも共に楽しめる唯一のジャンル。絵本そのものが多様性をもっています。この居場所をこれからも大切にしたい」と茅野さんは話しています。

「ちよだをつなげる女性30人」企画発表会を行いました！

この事業は、
女性の活躍を推進する
ために、令和3年度に
スタートしました！



区内に住み、働く、多様な女性たちが地域課題を発掘するワークショップ「ちよだをつなげる30人」。

今年度は、在勤者である区職員もメンバーに加わって、日頃感じている困りごとや地域課題を出し合うセッションを重ねました。

最終日の企画発表会には、区長、副区長なども参加し、8チームの活気に満ちたアイデア溢れるプレゼンテーションが、盛り上がりました。

このつながりをきっかけに、少しずつ活動を始め、キックオフイベントを開催したチームも！

キックオフイベントを開催しました！

ちよだ にこにこ子育て隊



昨年12月26日、岩本町ほほえみプラザにて、ボランティアの方や団体様にもご協力いただき、『にこにこどもまつり』を開催しました。今後とも活躍してまいります！

スナックちよだ



1月20日、年齢性別問わず幅広い層が参加！お一人でも、ママ役スタッフの声掛けですぐに話の中に溶け込める雰囲気です。次回開催も企画中！

企画発表会までの
活動の様子は、区のHPに
掲載しています。
ぜひご覧ください！



おもてなしちよだ 知りたい情報ステーション



区の情報が必要な人に的確に届いていない課題を、区内広報掲示板を撮影してSNSへの投稿、デジタル掲示板の設置などで解消していくことを提案しました。

しょうけいちよだ



区内中小企業の事業をひとつでも多く残り、女性の活躍の場や雇用の可能性を広げるため、女性による事業継承の実現を目指します。

ちよだ 100万人 One Team



区内在住者と在勤者の相互の交流を生み出し、「千代田区にいてよかった」と思える状態を目指し、交流イベントなどを実施していきます。

ここから一歩 ～ママの困りごと カミングアウト～



子育てに困りごとがある母親のサポートを目指し、「はばたきプラン」のさらなる充実、ワンストップですべての対応ができるコンシェルジュ機能を提案しました。

ちよ☆がく



学校と家以外に居場所の選択肢が少ない中高生の居場所づくりを目指し、パーチャル上での展開や、区内の大学や企業とも連携して交流を持つことも検討していきます。

千代田”週末アーティスト”キャラバン Weekend Artist Caravan(WAC)



区民の心に文化芸術の灯りをともし、アーティスト活動を軸にフラットなコミュニティ作りを目指します。



テーマ
色とりどりの
幸せのカタチ

令和4年9月30日(金) ▶ 10月1日(土)



第10回MIW祭りを開催しました！

会場 千代田区役所区民ホール
男女共同参画センター MIW



記念すべき10回目を迎えたMIW祭り。MIW祭りを通してそれぞれの「幸せのカタチ」について想像し、尊重することの大切さをテーマに開催しました。MIW登録団体をはじめ、区内大学、地域で活動する団体による様々な催しに、たくさんの方々にご参加くださいました。

男女共同参画 川柳コンテスト 授賞式



優秀賞のやーくんさん



◆大賞 ナンサンさん
絵日記に エプロンつけた パバがいる
◆優秀賞 やーくんさん
性じゃなく 前に個を置く 未来地図
◆準優秀賞 とみーさん
選ぶ自由 私の名字と これからも

正則学園高等学校花いけ男子部による ライブ 花いけ LIVEパフォーマンス



MIW登録団体や区内大学、地域団体の ブースやワークショップなどを実施！



Smile研究会
コーチングのコーナー
では、悩みを話せて
スッキリ！

法政大学
ボランティアセンター
学生スタッフ(VSP)
大人も子ども一緒に
ポッチャを楽しみました



ホームヘルパー
全国連絡会
はじめての手話体験で
盛り上がる皆さん



演劇「りつとにじのたね」 Presented by 演劇集団 LGBTI 東京



MIW 講座

MIW では、性別にとらわれることなく、その個性と能力を発揮できる社会の実現に向けた講座や講演会を実施しています。テーマは生き方、子育て、ワーク・ライフ・バランス、心やからだの健康など様々です。MIW の最新イベント情報は『広報千代田』、ホームページ、メールマガジン、SNS から発信しています。ご参加お待ちしております！

出前講座

区内企業、学校、保育園・幼稚園などで出前形式の講座を実施します。MIW までご連絡ください。

【講座テーマ例】

- 職場のハラスメント（セクハラ、パワハラ、マタハラ等）対策
- ワーク・ライフ・バランス
- LGBTQ の基礎知識
- デート DV 予防
- メディアリテラシー向上（SNS、インターネットの使い方）



※そのほかのテーマについてもお気軽にご相談ください。

MIW 相談室

夫婦やパートナー、家族との関係、人間関係、子育て、働き方、ハラスメント、性に関する事、性暴力、犯罪被害など、困っていることがあったら、一人で悩まずご相談ください。

予約制です。（区内在住、在勤、在学の方対象）

- 一般相談、法律相談、LGBTQ 相談
- 予約専用電話：03-5211-4316
（詳しくは HP をご覧ください）



困っていることがあったら一人で悩まずご相談ください

MIW 情報ライブラリ

MIW 情報ライブラリには男女共同参画社会づくりに関する資料が充実しています。生き方、仕事、ジェンダー、家族、からだ、子育て、介護など、テーマ別にまとまっていますので、目的の資料が見つめやすくなっています。お探しの資料が見つからないときは、お気軽にスタッフにお声掛けください。図書、雑誌、DVD などは千代田区立図書館貸出券で借りられます。



MIW で活動する団体を募集しています



MIW は、男女共同参画（ワーク・ライフ・バランス、女性活躍、LGBTQ など）をテーマに活動する団体・グループを登録団体として、活動を支援しています。MIW ミーティングルームやグループロッカーの貸出、区と共催し、事業を行う機会の提供などを行っています。

【登録要件】

- 活動目的：男女共同参画社会に資すること
- 代表者：区内在住・在勤・在学のいずれか
- 構成員：区内在住・在勤・在学を主な構成員とした 5 人以上の団体
- その他：MIW 祭り、MIW 事業に参加すること



みなさまからの MIW 通信への感想、MIW へのご意見などお待ちしております。

←メールはこちらから



千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)



所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 10 階
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩 5 分
開館時間 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 9 時 土曜日 午前 9 時～午後 5 時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
Eメール miw@city.chiyoda.tokyo.jp Facebook @chiyoda.miw
URL https://www.city.chiyoda.lg.jp (「暮らし・手続き」▶「男女平等・人権」▶男女共同参画センター MIW からお入りください)

■ 編集後記

MIW 通信をご覧いただきありがとうございます。今号の特集は大使館や区内企業、書店、区内で様々な活動をしている方たち、どれも千代田区ならではの幅広く多様な内容となっています。「男女共同参画」というと難しく感じられるかもしれませんが、より身近なテーマに触れながら面白そう、知りたいと思える情報を MIW から発信していけたらと思います。ぜひ区役所 10 階の MIW にも足を向けていただけたら嬉しいです。(Y)



← MIW 講座情報等をお送りします。メールマガジンの登録はこちらへ